

## (総括と方針)

平成 28 年度 (2016 年) は、会員施設と連携しながら 6 月に設立記念大会開催、10 月と 2017 年 1 月、2 月に各種研修開催、5 月と 12 月に厚生労働省と情報交換及び要望懇談会を中心に行ないました。

1 つ目は「ひとりぼっちの聴覚・ろう重複障害者をなくし、地域で安心してらせること」を目的にネットワーク体制を整備しようと 1997 年 4 月 5 日、北海道、東京、埼玉、静岡、京都、大阪、宮崎の 9 つの施設が京都に集い協議会を設立し、節目の 20 年目の 2016 年 6 月 18、19 日に埼玉にて記念大会を開催しました。これまで振り返ることがあまりなかった 20 年の歴史と成果を振り返り、今後の聴覚・ろう重複障害者福祉の充実と発展のための方向性を確認しあうことができた大会でした。また、20 年の歩みを多くの方々に周知理解を求めるために記念誌を発行しました。

2 つ目は、各種研修では、主にもろう重複障害者を対象に支援を行なっている会員施設同士で地域の一般研修ではなかなか学ぶことができない「ろう重複障害」の特性、支援について学習交流を深めました。このように顔がみえる関係作りは今後も大切にしていきます。

3 つ目は、会員施設から現場の意見を集約し、制度改善に向けて厚生労働省と情報交換及び要望懇談を行ないました。また、全日本ろうあ連盟をはじめ関係団体とともに統一要望を 2016 年 7 月 26 日に厚生労働省担当部署と協議しました。

近年、現場から悲鳴があがっているのは福祉に携わる担い手が足りなくなっていることです。高齢者障害者の生活の場、入所支援施設の方向性などの課題も山積していますが、それらを担う高度専門人材(支援者)を確保・育成することが喫緊の課題です。国は「高齢者分野」「障害者分野」なども含め「新たな福祉の提供ビジョン」「ニッポン一億総活躍プラン」「『我が事・丸ごと』地域共生社会実現本部設置」と一体化して進めようとしていますが、私たちは福祉の谷間におかれているろう重複障害者がさらに埋もれることなくろう重複障害者の生活の場の社会資源拡充、入所支援施設等の施策を整備するよう多方面で連携し、取り組んでいかなければならないと考えています。

平成 29 年度は、総会や各種研修、厚生労働省との懇談を実施するとともに、以下の通り行ないます。

①協議会設立 20 年を機に新たなステージへ、私たちの宣言文(あるいは趣旨書)作成を検討します。  
②50 を超える会員施設の実態を把握するべく基礎データ調査を行ないます。そしてろう重複障害者の支援の充実を図るために平成 30 年度障害福祉サービス報酬改定に向け、視覚・聴覚言語障害者支援体制加算拡充等の要望活動を行ないます。③ろう重複障害者支援ガイドブック作成に向けて、まずは基本構成を練ることから始めます。

最後に 2016 年 7 月 26 日に相模原市の障害者支援施設「津久井やまゆり園」において多くの入所者が死傷する痛ましい事件が起き、衝撃を受けました。この事件により亡くなられた方々のご冥福、怪我をされた方々の 1 人ひとりが安心して生活できる場が定まることをお祈り申し上げます。

容疑者は「意志の疎通ができない人を刺した」とのことですが、意思の疎通ができない人というのはどういう意味なのでしょう。また「障害者なんていなくなればいい」等は決して許されません。

会員施設と連携を行い、障害者への偏見、差別を解消するための啓発を続け、1 人ひとりが希望する生活を送れるよう、支援が受けられる体制を整備、社会資源を創るなどにはどうしたらよいか常に模索・研究し、前進していきます。



平成 28 年度総会の様子

## 平成 28 年度活動報告

### 1. 会 議・研修等

#### (1) 20 周年記念大会及び平成 28 年度総会の開催

◇期 日：平成 28 年 6 月 18 日（土）～19 日（日）

◇主 管：ふれあいの里・どんぐり

◇会 場：ウエスタ川越（埼玉県）

◇内 容：第 1 部

記念講演「聴覚障害者の地域生活支援及び意思疎通支援」

全国聴覚障害者情報提供施設協議会理事長 小中栄一氏

パネルディスカッション

「これまでのろう重複障害者施設連絡協議会と今後の展望」

初代会長 野畑晃氏 二代会長 山口愼一氏 三代会長 柴田浩志氏

司会 会長 渡邊健二

記念パーティー

第 2 部

平成 27 年度活動報告および収支決算、監査報告

平成 28 年度活動計画および収支予算



#### (2) 第 19 回施設長会議

◇期 日：平成 28 年 10 月 29 日（土）～30 日（日）

◇会 場：福島市保健福祉センター（福島県）

◇主 管：なのはなの家

①14 人（14 施設）

②地域生活支援拠点等整備推進モデル事業についての事例報告 セルプ南風 勝山憲和氏  
地域活動支援センターけやきの取り組み 所長

③講演「福祉人材確保の戦略と社会福祉施設・事業所に求められる取り組みについて」

講師：らしさ研究所 代表 門野 友彦氏



(3) 役員会

ア 第1回役員会

◇期 日：平成28年6月18日（土）

◇会 場：ウエスタ川越（埼玉県）

◇参加者数：8名

◇内 容：1. 記念大会及び総会について  
2. 調査研究の進捗について  
3. その他（研修会のマニュアル、施設長会議等）

イ 第2回役員会

◇期 日：平成28年10月29日（土）

◇会 場：福島市保健福祉センター（福島県）

◇内 容： 1 施設長会議の確認について  
2 厚生労働省への要望について  
3 次期（平成29年度～30年度）の役員について  
4 その他（次年度の総会、施設長会議）

(4) 事務局

ア 協議会のHP管理 <http://tukusi.org/zenrou.html>

イ 会員施設へ連絡や情報発信

ウ 厚生労働省との懇談

◇期 日：平成28年5月17日（火）

◇会 場：厚生労働省

◇内 容：挨拶、情報交換

◇期 日：平成28年12月19日（月）

◇会 場：厚生労働省

◇内 容：要望について

エ 日本聴力障害新聞年賀広告掲載

(2) 関係機関・団体との連携

ア 平成28年度全国盲重複障害者福祉施設研究協議会施設長セミナー

◇期 日：平成28年6月9日（木）

◇会 場：パレスホテル立川（東京都）

◇出席者：会長 渡邊健二 副会長 河合めぐみ

イ 全国聴覚障害者情報提供施設協議会第12回（通算24回）施設大会

◇期 日：平成28年6月23日（木）

◇会 場：アネックスパル法円坂（大阪府）

◇出席者：小規模対策部長 廣中和代

ウ 第64回全国ろうあ者大会・開会式典

- ◇期 日：平成28年6月12日（日）
- ◇会 場：アスティとくしま（徳島県）
- ◇出席者：会長 渡邊健二

エ 「第20回全国聴覚障害者福祉研究交流集会」協賛

- ◇期 日：平成28年11月26日～27日
- ◇会 場：佛教大学（京都府）

オ 社会福祉法人全国手話研修センター評議員会

- ◇期 日：平成28年6月17日、12月17日、2月18日
- ◇会 場：全国手話研修センター（京都府）
- ◇欠席

カ 全日本ろうあ連盟「福祉基本政策検討プロジェクトチーム」

- ◇期 日：平成29年2月23日
- ◇会 場：京都市聴覚言語障害センター（京都府）
- ◇出 席：副会長 木村公之
- 任 期：平成28年7月1日～

コ 厚生労働省との5団体統一要望懇談会

- ◇期 日：平成28年7月26日（火）
- ◇会 場：厚生労働省
- ◇出席者：副会長 河合めぐみ

## 2 専門部活動報告

今年度は、研修会開催に向けた準備や主管施設の役割等を整理し、「研修会開催マニュアル」を作成した。

### (1) 研修部

ア 第20回主任指導員会議

- ◇期 日：平成28年11月5日（土）～6（日）
- ◇会 場：1日目札幌市身体障害者福祉センター  
2日目札幌市視聴覚障害者情報センター（北海道）
- ◇主 管：聴覚障害者支援センターほほえみ作業所
- ①17名（11施設）
- ②「『働きたい』『働きたい』職場作り」
- ③「各事業所の状況・意見交換」

イ 第17回全国福祉施設聴覚障害者研修会

※全国高齢聴覚障害者福祉施設協議会との共催

- ◇期 日：平成29年1月28日（土）～29日（日）
- ◇会 場：米子コンベンションセンター（鳥取県）
- ◇主 管：聴覚障害者就労継続支援センターふくろう

①

②「鳥取から国を変える～鳥取県手話言語条例制定より～」

講師：鳥取県聴覚障害者協会事務局長 石橋大吾氏

③ワークショップ

「参加者の事業所の現状と課題 参加者の住んでいる地域での条例づくりの状況」

## (2) 小規模対策部

ア 第13回小規模施設学習交流会

※全国聴覚・ろう重複児施設協議会との共催

◇期 日：平成29年2月18日（土）～19日（日）

◇会 場：1日目プラザN 2日目鹿児島県民交流センター（鹿児島県）

◇主 管：ぶどうの木

①23人（10施設）

②「ゆうかり学園と僕・福祉のこれから」

講師：水流源彦氏（社会福祉法人ゆうかり理事長）

「日欧比較から考える聴覚障害者の就労支援の方向性」

講 師 岩山 誠氏

（放課後等デイサービス・デフキッズ施設長、元厚生労働省ハローワーク職員）

③「放課後等デイサービス・デフキッズの取り組み」

「就労継続支援B型事業所ぶどうの木&薩摩わっふるの取り組み」

## (3) 調査研究部

ア 「聴覚障害児・者の地域生活支援に関する研究事業」（全日本ろうあ連盟がみずほ財団の助成を受けて実施）について、共同して実施した。

※聴覚障害児・者の地域生活支援の手引き「地域で生きる 拠点を創る」

イ 各地における審査員、調査員への説明会等で「聴覚・ろう重複障害者」にかかる留意点等の周知について厚生労働省との意見交換などはできず。

平成 28 年度収支決算

平成28年度全国ろう重複障害者施設連絡協議会収支決算書				
収入の部				28年4月1日～29年3月31日 単位:円
科目	平成28年度予算額	平成28年度決算額	増減額	備考
(1) 会費収入	514,000	485,000	▲ 29,000	28年度会員(50施設 未収1施設)
(2) 寄付金収入	0	0	0	
(3) 事業収入	0	0	0	
(4) 雑収入	100	35,008	34,908	
受取利息収入	100	8		貯金利息
雑収入	0	35,000		祝い金
(5) 前期繰越金	882,400	882,400	0	平成27年度繰越金
合計	1,396,500	1,402,408	5,908	
支出の部				
科目	平成28年度予算額	平成28年度決算額	増減額	備考
(1) 事業費支出	380,000	380,000	0	
総会	200,000	180,000		
施設長会議	50,000	70,000		
主任指導員会議	50,000	50,000		
小規模学習交流会	50,000	50,000		
聴障職員研修会補助金	30,000	30,000		
(2) 調査研究費	50,000	0	50,000	
(3) 会場費	20,000	0	20,000	
(4) 旅費交通費	250,000	170,026	79,974	
役員会	100,000	32,466		役員の旅費等
渉外	150,000	137,560		厚労省要望等に伴う旅費
(5) 事務通信費	50,000	11,650	38,350	振込手数料、資料作成等
(6) 雑費	60,000	69,762	▲ 9,762	祝い金、広告代、振込手数料等
(7) 予備費	586,500	770,970	▲ 184,470	
合計	1,396,500	1,402,408	▲ 5,908	
収入 1,402,408	—	支出 1,402,408	=	0


平成 28 年度監査が実施されましたので、監事の報告求めます。

監 査 報 告 書

- 1 監査事項  
平成 28 年度全国ろう重複施設連絡協議会実施事業ならびに平成 28 年度会計収支決算について
- 2 監査報告  
監査の結果、事業は適正に実施され、会計収支決算についても証拠書類に照らし監査した結果、正確に処理されていることに相違ありません。

平成 29 年 5 月 19 日

全国ろう重複障害者施設連絡協議会

監 事 勝山憲和 

監 査 報 告 書

- 1 監査事項  
平成 28 年度全国ろう重複施設連絡協議会実施事業ならびに平成 28 年度会計収支決算について
- 2 監査報告  
監査の結果、事業は適正に実施され、会計収支決算についても証拠書類に照らし監査した結果、正確に処理されていることに相違ありません。

平成 29 年 6 月 6 日

全国ろう重複障害者施設連絡協議会

監 事 澤田利江 